

「地域とともにある中山小」を目指して ～一年間の感謝を込めて～

早いもので、今年度も最後の月を迎えました。3月は卒業や進級という大きな節目です。学校では、24日、いよいよ「卒業証書授与式」が行われます。中山小学校のリーダーとして、活躍してきた6年生を送る最後の大切な行事が控えています。

振り返れば、昨年4月中山小学校でもコミュニティ・スクールが本格的に始動しました。4月早々の「ヨモギの摘み取り」から始まり、毎月の学校支援活動。2月の「お年寄りとの交流会」まで、地域学校協働活動も活発に行われました。

子どもたちには校外学習や地域行事での交流を通じ、地域の皆様の知恵や経験に触れることで、地域への愛着や誇りが深まればと思います。引き続き、温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

地域コーディネーター H・S

「昔の遊び」をお年寄りと一緒に楽しみました

2月10日、地域のお年寄りの方々をお招きして、昔の遊びを教わりながら、一緒に楽しく遊んだりする交流会が行われました。

1年生から4年生は、「あやとり」、「こま回し」、「お手玉」など「昔の遊び」を教えていただきながら挑戦。うまくできてもできなくても笑い声が広がり、にぎやかな時間を過ごしました。

5・6年生は、同じテーブルで一緒に給食を囲みながら、学校生活や昔の思い出話に花が咲いていました。



老人クラブの皆さんと「けん玉」「あやとり」などを一緒に作り、楽しい交流会となりました。



老人クラブの皆さんに剪定作業を行っていただきました

2月24日、朝早くから、中山老人クラブ連合会の皆さん約10名が来校され、中庭の剪定作業を行っていただきました。

脚立にも上りながら、伸びた枝を整えていただき、約1時間作業を行っていただきました。お陰で、中庭に光が差し込み、爽やかな空間になりました。



剪定作業お世話になりました

「どんど焼きまつり」に年男の児童が参加しました



「どんど」に矢を放つ年男の児童（写真上）

1月11日、中山支館の伝統行事「どんど焼きまつり」が行われました。当日は、早朝から大勢の方が訪れ、燃え上がる「どんど」に歓声をあげ、残り火で餅をあぶっていただきました。

年男の今年6年生になるS・Nさんも参加。「どんど」に火矢を放ち、今年一年健康で過ごせますようにと祈りました。

「盛景寺」を訪れ お寺の歴史を学びました

2月25日、3・4年生が社会科の学習で盛景寺に見学に行きました。最初に本堂で仙波 道彦住職から盛景寺の由来などについてお話をもらい、更に本殿にある掛け軸や彫り物などについて説明をしていただきました。

その後、子どもたちから住職へのインタビューが行われ、「盛景寺は何年前に建てられたのですか」「釣鐘を鳴らす理由は」「菩提樹は樹齢何年経っていますか」など多くの質問を行い、子どもたちは熱心にメモを取っていました。最後に住職から座禅を教わり、お寺の歴史を学ぶとともに貴重な体験をさせていただきました。



座禅を教わり体験しました



住職からお寺の説明をしていただきました



ボランティアの皆さん

一年間御支援ありがとうございました

この一年間、ボランティアの皆さんには、図書支援・交通安全活動、環境整備等で、本校の教育活動に御協力いただきありがとうございました。

皆様方の御支援のお陰で、子どもたちはより充実した学校生活を送ることができ、より安全で、快適な学習環境を提供することができました。



一年を通じてお世話になった各支援ボランティアの皆さん